

尾道教育の目指す子ども像：

尾道教育の目指す学校像：

A・Cグループ

実現に  向けた

テーマ1：適正な就学に係る
学校選択制度について

地域との関係性
保護者との関係性
尾道オリジナル
教育の質の均等性
特色のバランス
子どもの意志

テーマ2：答申作成に向けて

○適正な学校の配置や規模について（答申に反映したい内容）

教育の質の維持・確保、学力の向上
地域性への配慮：伝統文化に学ぶ、人に学ぶ
通学の安全安心、子どもの負担配慮
小規模校への対応、オンライン交流等 地域拠点

○新しい時代の学びを実現する学校施設について（答申に反映したい内容）

子ども達の交流・コミュニケーション
不登校児童生徒の居場所
安全安心・防災
子どもの個性が伸ばせる ICT環境の充実

○小・中学校の在り方を考えていく上での留意事項について

教職員が働きやすい環境
地域や保護者との関係性・理解

尾道教育の目指す子ども像：

尾道教育の目指す学校像：

B グループ

実現に  向けた

テーマ1：適正な就学に係る
学校選択制度について

○継続について

賛成

・保護者、子ども共にゆとり
が生まれる

・時代と共にニーズが変化
(学力よりも心穏やかに過
すこと)

進路

留意点

・ニーズを具体的につかんで
おくことも必要ではないか

・学童の有無

・制度について市民の方に
知ってもらうこと

テーマ2：答申作成に向けて

○適正な学校の配置や規模について (答申に反映したい内容)

- ・児童・生徒数に関わる項目
- ・地域特性 } を活かした教育に関わる項目 (②キ)
コミュニティ
- ・スクールバスについて (①エ)
- ・心理的影響 (①オ)

○新しい時代の学びを実現する学校施設について (答申に反映したい内容)

- ・防災について (③イのイ、ウ、ニ、コ)
- ・子どもの居場所作りについて (③イのキ、ヌ)
- ・交流のできる空間, I C T の充実について (③イのツ)

○小・中学校の在り方を考えていく上での留意事項について

- ・子どもが安心して過ごせる環境について
- ・子どもが一番先生が生き生き働ける
- ・地域とのあり方

尾道教育の目指す子ども像：

尾道教育の目指す学校像：

Dグループ

実現に  向けた

テーマ1：適正な就学に係る
学校選択制度について

方向性 ○

留意

- ・ 5～10人に限らずクラス編制に影響なければ配慮したらどうだろう
- ・ 「7.」町内会の数値が低いので、周知（説明）が必要ではないか

選択利用率 6.17%程度

テーマ2：答申作成に向けて

○適正な学校の配置や規模について（答申に反映したい内容）

- ・ 通学時間（40分以内）
- ・ 島は人数が減っても残す（複数が望ましいが）
（複式となってもいい）
- ・ 不登校児童生徒に対応できる学校も残したい
- ・ 防災基準に達している場所に
- ・ 少人数のクラス編制

○新しい時代の学びを実現する学校施設について（答申に反映したい内容）

- ・ ICTの充実
- ・ 印刷機等最新のものに ← 子どもと接する時間を増やす
- ・ 地域コミュニティと連携できる（複合的施設）
- ・ 教室サイズ（机のサイズに合った）
- ・ 体育館冷房 ・ プール（スイミングスクール活用？）
- ・ 運動会をびんご運動公園で？

○小・中学校の在り方を考えていく上での留意事項について

- ・ 再編にかかわる基準（学級編成）

- ・ 小学校の編成が急務（R14年小9校が半減）
- ・ 小中一貫校について保護者、地域へ丁寧に説明する